



横浜市立中和田中学校

# 学校だより

令和8年4月30日号

校長 松田 哲治

【学校教育目標】 自ら学び、自他を大切にして、社会に貢献する生徒を育てます

横浜市泉区和泉中央北二丁目5番1号 TEL 045-802-1301 FAX 045-805-4403

## ひと休み 深呼吸ひとつ…

校長 松田 哲治

先日、1年生の校外学習(PAA)に、学年職員とともに生徒を引率して行ってきた。雨天だったのため、「Project Ashigara Adventure」の由来である「足柄」の自然林ではなく、行き先は箱根の体育館になった。それでも、ちょっと難しいかな…と思える課題にチームで挑戦する中で、一人では達成できない「自己変容」のプロセスを体験ないし体感するという「Project」は実施できた。

チームごとにファシリテーターの方にお世話になりながら、「心の骨組み」を形成するプログラムに取り組み、入学早々の1年生には、新たな仲間づくりをどう進めていくのか、クラスでの1年間や中和田中での3年間のへ見通しをもつことに効果的だな…と、あらためて実感した。特に「パイプライン」というアクティビティ。竹筒を半分に割ったようなハーフパイプを使い、協力してゴールバケツまでビー玉を運ぶ活動は、1回・2回で成功はせず、お互い何をどう気遣い合えばよいのか、考えながら何度も何度も挑戦しては失敗し、ついに最後までできたときの歓声は、今も印象に残っている。

新年度がスタートして1か月が経とうとしている。小学校卒業から間もない1年生。少し「先輩」らしく行動し始めた2年生。青年期の入り口に差し掛かった3年生。誰もが皆、新たな先生や友人たちとの出会いの中、適度な緊張感を保ちつつ、中和田中での生活を送ってきたのではないだろうか。新しい環境にも慣れてきて、毎日を楽しめるようになってくればよいのだけれど、逆に、緊張感がピークに達していたり、疲れが溜まりかけていたりして、心身の不調を訴える生徒が出始めるのも、今の時期である。

これは毎年言っていることだが、「ちょっと休みたいかなあ…」と感じているようなら、今週末からの連休を上手に活用してリフレッシュを図り、夏までの3か月弱を乗り切ってもらいたい。



5月になると、3年生は修学旅行、2年生も校外学習、…月末には体育祭と、学年や学校行事が目白押しだ。そして6月には、1年生にとっては初めてとなる定期試験。7月には三者面談があり、気が付けば夏休み…なんてことになっている。学校生活が本格化してくるとともに、ちょっと慌ただしく感じる時期があるかもしれない。部活動も大会やコンクール本番。悔いを残さず、やり切りたい。

そんな時こそ、新たな仲間たちとともに、ちょっと立ち止まってひと休み。そして、深呼吸ひとつ。チーム中和田として、力を合わせ目の前の山を乗り越えていくのだ。